

みどり 水土里ネット みやぎ 土地改良広報

2026

No.640



No.640 号表紙写真

第13回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト
カメラ部門 学生優秀賞

作品名：『田の神の春秋去来』
撮影地：仙台市

Contents

- 第67回 通常総会を開催しました
- 令和8年度 水土里ネットみやぎ予算が決定しました
- 第67回 全国水土里ネット表彰式が開催されました
- 第13回 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査発表！！
- 春の叙勲表彰

No. 640 号目次

□トピックス

- P3 理事会・監事会を開催しました
- P4 第 67 回 通常総会を開催しました
- P6 令和 8 年度 水土里ネットみやぎ予算が決定しました
- P7 第 67 回全国水土里ネット表彰式が開催されました
- P8 土地改良区職員研修会を開催しました
- P8 農業水利施設ストックマネジメント研修会を開催しました
- P9 宮城県農業用ため池保全管理技術研修会を開催しました
- P13 春の叙勲表彰

□おしらせ

- P10 第 13 回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査発表！！
- P13 用水路やため池での水難事故に注意！
- P14 本会資格取得者
- P14 就退任
- P14 今後の行事予定（6 月～7 月）

土地改良歴史資料室について

土地改良事業では、これまでに数多くの技術図書が作成されてきました。そこには、農業農村整備における技術の変遷や地域ごとの特色が記録されており、貴重な資料となっています。

水土里ネットみやぎでは、こうした図書や資料を収集・一括管理し、広く県民の皆さまに土地改良事業への理解を深めていただけるよう整備しています。

ぜひ、「土地改良歴史資料室」をご利用いただき、地域の歩みと技術の蓄積にふれてみてください。

【URL】 <http://www.mlw.or.jp/news/8089/>



理事会・監事会を開催しました

第 5 回監事会

2月16日、第5回監事会を開催し、以下の1議案が上程され、慎重なる審議を行った結果、原案のとおり承認可決されました。第5回監事会に提出した議案は以下のとおりです。

第1号議案 令和7年度一般会計収入支出補正予算の専決処分に係る承認について



第5回監事会の様子

第5回理事会

2月16日、第5回理事会を開催し、以下の5議案が上程され、慎重なる審議を行った結果、原案のとおり承認可決されました。

また、事務局からの報告事項として「今後の行事予定について」、「第67回全国土地改良功労者等表彰について」、「第67回通常総会の開催方法（案）について」、「令和8年度宮城県土地改良大会の開催（案）について」などについて報告し、理事会を終了しました。第5回理事会に提出した議案は以下のとおりです。

議案第1号 令和7年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について

議案第2号 職員就業規則の一部改正について

議案第3号 諸規程の一部改正について

議案第4号 第67回通常総会提出議案について

議案第5号 第67回通常総会の日時及び場所について



第5回理事会の様子

第67回 通常総会を開催しました

3月19日、宮城県土地改良会館5階大会議室において、「第67回通常総会」を開催しました。

総会では、関係各機関より来賓を迎え、会員多数が出席する中、主催者を代表して伊藤康志会長より、「全国各地で異常気象が頻発しており、異常渇水や豪雨による冠水被害、さらには東北・北海道沖を震源とする大規模地震が発生するなど、広域的な自然災害は常態化している現実を重く受け止め、確固たる覚悟を持って備えなければなりません。さらには、いわゆる「令和の米騒動」に見られる米需給の不安定化は、食料安全保障の重要性を改めて浮き彫りにいたしました。

こうした情勢を踏まえれば、生産基盤の強化、とりわけ農地整備や農業水利施設の整備推進は欠くことの出来ない取組であります。このような中、令和8年度は、新たな食料・農業・農村基本計画に基づき、食料安全保障の確保と農業生産基盤の強化を加速させる農業構造転換集中対策が本格始動する重要な年であり、本県においても「みやぎ農業農村整備基本計画」の中間見直しが行われ、更なる農地の大区画化・汎用化の推進と農村地域における防災・減災の強化が図られることとなっております。本連合会といたしましても、会員支援の一層の充実を図りつつ、国・県・市町村との緊密な連携のもと、生産基盤の整備及び農村地域における防災・減災対策の推進に全力で取り組んで参ります。」と開会挨拶を述べました。

続いて、来賓を代表して永井春信東北農政局長、村井嘉浩宮城県知事代理として小林徳光副知事、佐々木幸士宮城県議会議員、村上智行水土里ネット議員懇話会会長代理として八島利美宮城県議会議員、進藤金日子参議院議員、櫻井充参議院議員よりご祝辞を頂戴し、来賓紹介並びに祝電が披露されました。

議事では、津山土地改良区の西條昇平理事長が議長に選任され、第1号議案から第8号議案までの8案件が上程され、慎重審議の結果、全議案承認可決されました。議案審議終了後、総会決議案について菅原勘一副会長より朗読上程が行われ、採択決定となりました。最後に門間一男副会長が閉会挨拶を述べ、通常総会の一切を終了しました。

第67回通常総会の提出議案は以下のとおりです。

第1号議案	令和7年度一般会計収入支出補正予算の理事会専決処分に係る報告承認について
第2号議案	宮城県土地改良事業団体連合会定款の一部変更について
第3号議案	宮城県土地改良事業団体連合会規約の一部変更について
第4号議案	令和8年度事業計画について
第5号議案	令和8年度一般会計収入支出予算について
第6号議案	令和8年度役員報酬について
第7号議案	令和8年度経費の賦課徴収方法について
第8号議案	令和8年度取引先金融機関及び一時借入の方法について



伊藤康志会長の開会挨拶



総会の様子

決 議

現在、国際社会は、地球規模で頻発する異常気象や国際情勢の不安定化、資源・エネルギー価格の上昇など、先行き不透明な状況に直面している。こうした中、我が県の農業・農村においても、農業者の高齢化や担い手の減少が進行し、農地や農業用水等の適切な保全管理や営農の継続が困難となるなど、様々な問題を抱えている。加えて、資機材等の価格高騰は、土地改良施設の適正な維持管理を担う土地改良区の運営に深刻な影響を及ぼしている。

これら内外の情勢変化を踏まえ、令和六年には食料・農業・農村基本法が改正され、食料安全保障の確保や農業生産基盤の保全が国の責務として明確化された。さらに、土地改良法の改正や、新たな土地改良長期計画の策定により、土地改良事業は、国の基である農業・農村を将来にわたり支える重要な政策として、その役割を一層高めている。

これまで水土里ネットは、農地の大区画化や汎用化、スマート農業の展開を見据えた基盤整備、農業水利施設の計画的な保全更新に加え、洪水被害の防止やため池の耐震化など、農村地域における防災・減災対策を通じて、食料安全保障の強化と国土強靱化に大きく貢献してきた。人口減少が進む中であっても、将来の担い手が明るい展望や意欲を持って参画できる農業・農村を実現するには、生産構造の転換を着実に進めることが不可欠であり、国が進める農業構造転換集中対策を支える水土里ネットの役割は、これまでに以上で重要となっている。

このような状況の下、水土里ネットには、先人の不断の努力により築き上げられてきた農地・農業用水等の地域資源を、将来を見据えた形で次世代に引き継ぐ責務があり、区画拡大や施設管理の省力化、田んぼダムなどのグリーンインフラの推進、農村地域の関係人口の創出などを通じて、農業・農村の新たな展開を支える基盤を整えとともに、自然災害に備えた防災・減災対策を継続的に取り組むことが求められている。

そのため、「今動かなければ手遅れになる」という強い危機感を持ち、こうした思いを幅広い関係者と共有し、男女共同参画の取組をはじめとした多様な人材の参画を促しながら体制を整え、農業・農村を支える中心的な役割を果たしていく。

土地改良関係予算については、「闘う土地改良」の下、組織を挙げた取組を重ねた結果、令和七年度補正予算及び令和八年度当初予算を通じ、昨年度を上回る六千九百四十二億円を確保することができた。水土里ネットは、この貴重な財源を最大限に活用し、農業・農村の持続的な発展と食料安全保障の確保に向け、積極的にその使命を果たしていく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに水土里ネット関係者が一致団結して左記事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

1. 農業の構造転換と国土強靱化実施中期計画に基づいた取組を一層進めるため、県内の農業・農村を支え、食料安全保障の確保に欠かせない土地改良事業を計画的に推進できるよう、別枠を含め工事価格等の高騰を踏まえた十分な予算を確保すること。その際、市町村及び土地改良区の負担軽減に配慮した支援措置を講じること。
2. 本県農業の競争力強化及び持続可能な農業生産の確立に資するよう、国内生産の拡大や高収益作物の導入・振興、担い手への農地の集積・集約化、スマート農業の導入を促す農地整備を一層推進すること。また、中山間地域においては、その地形条件等を踏まえ、地域の実情に応じたきめ細かな農地整備を推進すること。
3. 土地改良法の改正を踏まえ、制度の趣旨及び内容について、現場の実情に即した周知と理解の促進を図ること。併せて、水土里ビジョンの作成等をはじめ、農地・農業用水等の地域資源の保全活動が持続可能な取組となるよう、土地改良区や市町村等への支援を充実させること。
4. 農業水利施設が高い公共性・公益性を有することを踏まえ、施設の保全管理に対する支援を充実させるとともに、排水施設の維持管理費等を負担する市町村の負担軽減に資する支援策を強化すること。
5. 大規模災害からの速やかな復旧・復興及び再度災害の防止に向けた必要な措置を講ずること。さらに、農業水利施設の長寿命化や豪雨・耐震化対策を着実に推進するとともに、田んぼダム等を活用した流域治水の取組拡大に向け、必要な支援を強化すること。
6. 農村地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出に向け、受入環境の整備を進めるとともに、歴史的農業遺産などの農業・農村の歴史や価値を活かした農村振興施策を推進すること。
7. 男女共同参画など、新たな社会的要請等の対応について、引き続き必要な支援を講ずるとともに、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
8. 上記事項の推進にあたり、水土里ネットが有する技術及び経験などを十分に活用できるよう配慮すること。

令和 8 年 3 月 19 日

宮城県土地改良事業団体連合会
第 67 回通常総会

令和8年度 本会予算が決定しました

～総額 16 億 8 千 6 百万円（対前年比 103.1%）～

3月19日の第67回通常総会に『令和8年度の一般会計収入支出予算案』を上程し、原案のとおり承認可決されました。予算は、当期収入合計、当期支出合計とも令和7年度対比で103.1%となっています。

令和8年度 収入支出予算総括表

収入の部

(単位:千円)

科	目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	比較増△減	前年対比	付 記
1	一般管理収入	64,774	56,312	8,462	115.0%	
2	補助指導事業収入	9,672	10,882	△1,210	88.9	
3	受託事業収入	805,100	775,100	30,000	103.9	
4	維持管理適正化事業収入	561,649	569,253	△7,604	98.7	
5	農道台帳管理事業収入	3,360	3,280	80	102.4	
6	土地改良基金事業収入	53,750	53,640	110	100.2	
7	農家負担金軽減支援対策事業収入	43,517	49,786	△6,269	87.4	
8	水土里情報システム運営事業収入	7,500	7,500	0	100.0	
9	基本財産運用収入	850	850	0	100.0	
10	特定資産運用収入	5,518	4,097	1,421	134.7	
11	その他の収入	620	620	0	100.0	
12	特定資産取崩収入	129,670	103,660	26,010	125.1	
13	固定資産売却収入	10	10	0	100.0	
14	出資金等戻り収入	10	10	0	100.0	
	当期収入合計（A）	1,686,000	1,635,000	51,000	103.1	
	前期繰越収支差額	1,179,998	988,131	191,867	119.4	
	収入合計（B）	2,865,998	2,623,131	242,867	109.3	

支出の部

(単位:千円)

科	目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	比較増△減	科 目	予 算 額
1	一般管理支出	216,494	228,818	△12,324	94.6%	
2	補助指導事業支出	9,672	10,882	△1,210	88.9	
3	受託事業支出	594,400	567,630	26,770	104.7	
4	維持管理適正化事業支出	561,649	569,235	△7,586	98.7	
5	農道台帳管理事業支出	3,360	3,280	80	102.4	
6	土地改良基金事業支出	53,730	53,710	20	100.0	
7	農家負担金軽減支援対策事業支出	43,517	49,786	△6,269	87.4	
8	水土里情報システム運営事業支出	7,500	7,500	0	100.0	
9	基本財産取得支出	10	10	0	100.0	
10	特定資産取得支出	70,018	68,589	1,429	102.1	
11	その他の支出	94,620	44,530	50,090	212.5	
12	固定資産取得支出	1,020	1,020	0	100.0	
13	出資金等支出	10	10	0	100.0	
14	予備費支出	30,000	30,000	0	100.0	
	当期支出合計（C）	1,686,000	1,635,000	51,000	103.1	
	当期収支差額（A）－（C）	0	0	0	—	
	次期繰越収支差額（B）－（C）	1,179,998	988,131	191,867	119.4	

全国水土里ネット表彰式が開催されました

3月25日、「第67回全国土地改良功労者等表彰」並びに「農業農村整備優良地区コンクール表彰」の各表彰式が東京都千代田区の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において開催されました。

全国土地改良功労者等表彰は、永年にわたり土地改良の発展、推進に多大な貢献をされた土地改良関係者（団体または個人）に授与されるものです。

本県からは、団体表彰の全土連会長賞として、鬼首土地改良区と伊豆沼沿岸土地改良区が受賞されました。

個人表彰では、役員表彰として柴田郡村田町外一町澄川土地改良区理事長の上田万作一氏、大崎土地改良区副理事長の佐々木良弘氏、鳴瀬川沿岸土地改良区理事長の久本徳衛氏、登米市豊里町土地改良区副理事長の今野守氏、登米市豊里町土地改良区監事の佐藤哲義氏が受賞されました。

職員表彰では、仙台市泉土地改良区事務長の廣瀬隆博氏、石巻市北方土地改良区総務課長の鈴木惣一郎氏がそれぞれ受賞されました。

農業農村整備優良地区コンクールの全土連会長賞としては、仙台東地区七郷換地区の農事組合法人せんだいあらはまが表彰されました。

受賞されました関係機関並びに関係者の方々には、心よりお祝い申し上げます。



全国水土里ネット二階会長の挨拶



鬼首土地改良区
大場善郎理事長



伊豆沼沿岸土地改良区
高橋弘志理事長



～ 第67回全国土地改良功労者等表彰 ～

団体表彰	全土連会長賞	鬼首土地改良区 伊豆沼沿岸土地改良区
個人表彰	役員表彰	上田 万作一 氏（柴田郡村田町外一町澄川土地改良区理事長） 佐々木 良弘 氏（大崎土地改良区副理事長） 久本 徳衛 氏（鳴瀬川沿岸土地改良区理事長） 今野 守 氏（登米市豊里町土地改良区副理事長） 佐藤 哲義 氏（登米市豊里町土地改良区監事）
	職員表彰	廣瀬 隆博 氏（仙台市泉土地改良区事務長） 鈴木 惣一郎 氏（石巻市北方土地改良区総務課長）

～ 農業農村整備優良地区コンクール表彰 ～

全土連会長賞	仙台東地区七郷換地区 農事組合法人 せんだい あらはま
--------	-----------------------------

土地改良区職員研修会を開催しました

1月23日、宮城県土地改良会館5階大会議室において、県内34土地改良区から48名参加のもと、「土地改良区職員研修会」を開催しました。

この研修は、本会事業計画に基づき土地改良区の体制強化に資するため毎年度開催するものです。

本研修会では、外部専門分野からの講師による講演のほか、『宮城の水土里を未来に（皆さんの役割と将来を考える）』と題して研修を行いました。研修内容は次のとおりです。



研修会の様子

研修内容	講師名
水土里ビジョン策定に向けて	宮城県農政部農村振興課 指導班主査 川村崇文 様
会計指導員の視点から水土里ネットの 運営と将来を考える	群馬県土地改良事業団体連合会 総務部長 岡 聡史 様
地域とともに歩む水土里ネット ～疏水を核としたまちづくり～	広瀬桃木両用水土地改良区 事務局長 小池俊也 様
広瀬川と六郷堀・七郷堀の歴史と現況 から今後の疏水管理を考える	仙台東土地改良区 事務長 菅野 司 様

農業水利施設ストックマネジメント研修会を開催しました

2月19日、宮城県土地改良会館5階大会議室において、県内各土地改良区から39名参加のもと、「令和7年度第3回農業水利施設ストックマネジメント研修会」を開催しました。

本研修会は、土地改良区体制強化事業（基幹水利施設保全管理技術向上研修）において年3回実施する研修会であり、3回目の研修は宮城県農村整備課水利施設保全班より「宮城県農業水利施設の機能保全に関する実施方針」について情報提供が行われ、続いて機能保全計画書の概要及び作成演習について講義を実施しました。

研修会の内容等は次のとおりです。



研修会の様子

研修内容	講師名
宮城県農業水利施設の機能保全に関する実施方針について	宮城県農村整備課水利施設保全班 副班長 佐藤拓海 様
農業水利施設の機能保全計画書の概要について	水土里ネットみやぎ 総務部
機能保全計画書の作成について	会員支援班長 中川洋志

宮城県農業用ため池保全管理技術研修会を開催しました

11月6日、栗原合同庁舎3階会議室および栗原市「狼巣上ため池」において、県・市町村職員ならびに関係団体等の計51名が参加し、「令和7年度 宮城県農業用ため池保全管理技術研修会」を開催しました。

本研修会は、農業用ため池の適切な保全管理に対する理解を深めることを目的として、宮城県および宮城県ため池サポートセンターが主催したものです。研修では、宮城県農政部農村防災対策室ため池対策班より、ため池管理マニュアルの要点について解説いただきました。

また、ため池管理者である三塚様からは、池干しの実践事例についてご紹介いただきました。さらに、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団の藤本様を講師に迎え、池干しによる外来種駆除や生物多様性の回復について等、専門的な観点から講義を行っていただきました。研修会の内容は、次のとおりです。



研修会の様子

研修内容	講師名
ため池管理マニュアルの要点解説	宮城県農政部農村防災対策室ため池対策班技師 鈴木 拓也 様
池干しの実践事例	ため池管理者 三塚 牧夫 様
池干しによる外来種駆除と生物多様性の回復	公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 藤本 泰文 様
サイフォン式緊急放流装置及びため池諸元の簡易確認方法の説明	宮城県ため池サポートセンター 公益社団法人みやぎ農業振興公社参与 谷口 敏 様
狼巣上ため池の概要と設備説明	ため池管理者 三塚 牧夫 様
外来種駆除後の生物調査	公益財団法人宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団 藤本 泰文 様
ため池諸元の簡易確認方法の紹介	宮城県ため池サポートセンター 公益社団法人みやぎ農業振興公社参与 谷口 敏 様

第48回 全国土地改良大会奈良大会

日程：令和8年11月17日（火）

会場：奈良県『コンベンションセンター』

「きれいな水」「豊かな土地」「美しいふる里」
水土里が育てる まほろばの奈良

本式典は、農業・農村の重要性と、それを支える農業農村整備事業の役割を広く国民に発信し、国の礎である農業・農村を一層発展させるとともに、次世代へ永く引き継いでいくことを目的として開催されます。



第13回 みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト 審査結果発表！

「みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト」は、宮城県内各地の農村の美しい景観や伝統行事、農村での暮らしに県民の皆さまが興味・関心を持っていただくことを目的に開催しています。

本コンテストを通じて、みやぎの農業・農村の魅力を広く県内外に発信しています。

第13回となる今回は、カメラ部門およびInstagram部門の2部門において、多数のご応募をいただきました。

応募作品につきましては、2月12日（木）に宮城県土地改良会館において審査会を開催し厳正な審査を行いました。

その結果、各賞が以下のとおり決定しました。

なお、入賞作品は水土里ネットみやぎホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



審査会の様子

カメラ部門 入賞作品



宮城県知事賞

【 田んぼとぼく 】

撮影者：新国杏子 様 / 撮影地：仙台市

第13回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト

カメラ部門 / Instagram 部門

入賞作品紹介ページ

https://mlw.or.jp/nonbiri_award/10886/



水土里ネットみやぎ会長賞

【うれしいね】

撮影者：佐藤桃香 様 / 撮影地：多賀城市



宮城県中山間地域活性化推進協議会長賞

【初夏が運んだ優しい色】

撮影者：齋藤千恵美 様 様 / 撮影地：色麻町



学生優秀賞【田の神の春秋去来】

撮影者：小川七斗 様 / 撮影地：仙台市



ふるさと賞【花と休息】

撮影者：秋葉宏幸 様 / 撮影地：大崎市



ふるさと賞【ひまわり畑をかけ抜けて】

撮影者：荒谷拓実 様 / 撮影地：山元町



ふるさと賞【一心不乱に】

撮影者：渡邊哲 様 / 撮影地：加美町



入選【棚田の秋景】

撮影者：佐藤義憲 様 / 撮影地：栗原市



入選【一面五月晴】

撮影者：齋藤吉信 様 / 撮影地：角田市



入選【豊作を願って】

撮影者：佐々木均 様 / 撮影地：岩沼市

Instagram 部門 入賞作品



Instagram 大賞

【 梨園 challenge 】

撮影者：goodday_tabi 様 / 撮影地：角田市



入選【 雲海に包まれて 】

撮影者：荒谷拓実 様 / 撮影地：石巻市



入選【 夏が来た 】

撮影者：秋葉宏幸 様 / 撮影地：山元町

宮城県ため池サポートセンターよりお知らせ

宮城県ため池サポートセンターにおいて、県内のため池に関する情報提供を行っております。
サポートセンターのホームページをぜひご覧ください！

詳しくは本会ホームページをご覧ください。 (<https://tameike.miyagi.jp/>)



ご受章おめでとうございます ～令和8年 春の叙勲～

内閣府より令和8年春の叙勲受章者が発表されました。
このたびのご受章、誠におめでとうございます。
心よりお慶び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を
ご祈念申し上げます。

土地改良事業功労 旭日双光章

佐藤 稔 氏（元 仙台東土地改良区理事長）

用水路やため池での水難事故に注意！

宮城県では、4月から8月にかけて水田への用水期となり、ため池や農業用水路の水量が増え、流れも速くなります。この時期は特に、子どもや高齢者が水路やため池に転落する水難事故が多く発生しています。事故を未然に防ぐため、管理者の皆さまは、日常的に巡視・点検を行い、危険箇所の有無を確認してください。危険が認められる場合は、立て看板やポスターによる注意喚起、安全柵の設置、広報活動など、地域住民への周知を含めた対策を徹底し、事故防止に努めてください。

また、全国水土里ネット等では、転落事故防止を呼びかけるポスターや動画を無償で提供していますので、ぜひご活用ください。（<https://www.inakajin.or.jp/>）



ため池転落防止啓発用動画です。森に迷い込んだ兄弟と、不思議な仲間たちの物語。絵本のような世界で、ため池の危険と大切さを学びます！

令和 7 年度 本会職員資格取得者

資格名	取得者数	資格名	取得者数	資格名	取得者数
技術士	1	土地改良換地士	1	技術士補	1
1 級土木施工管理 技士補	1	浄化槽技術管理者	1	商工簿記 2 級	1
土地改良区体制強化 事業会計指導員	1	農業用ため池管理 保全技士	1		

就退任

鳴瀬川沿岸土地改良区 理事長 久本徳衛 → 榊形恭一【就任 R8. 4. 1】

登米市豊里町土地改良区 理事長 阿部 公 → 今野 守【就任 R8. 4. 17】

事務所移転

仙台市泉土地改良区 新住所 住 所 〒981-3124 仙台市泉区野村字桂島 12-2
電 話 022 (372) 0064
F A X 022 (372) 8669

今後の行事予定

開 催 日		主催者名	行 事 名	開催場所
6 月	6/3(水)	本会	第 1 回監事会	本会館
			第 1 回理事会	本会館
			要請活動	東北農政局・宮城県・ 宮城県議会
	6 月～7 月	各支部	宮城県土地改良事業団体連合会各支部総会	各支部管内
7 月	下旬	本会	決算監査・第 2 回監事会	本会館予定
			第 3 回三役会議	

お陰様で弊社は創業 79 周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂きますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



水処理総合エンジニアリング
萱場工業株式会社

本 社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号
T E L：022-272-8686
ホームページ：http://www.kayaba-ind.co.jp
支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡
石巻、大崎



パスコは、人工衛星や航空機を活用して地上を測り、
農業生産の基盤整備・活性化に取り組んでいます

PASCO
Surveying the Earth to Create the Future

株式会社パスコ
仙台支店
宮城県仙台市宮城野区
名掛丁 205-1
022-299-9522
www.pasco.co.jp

株式会社同和建材

〒989-6124
宮城県大崎市古川石森字天王山2-1
電話 0229-24-2755
メール dowa-2755@athena.ocn.ne.jp

- ☆ 農業土木資材販売
- ☆ 各種2次製品販売

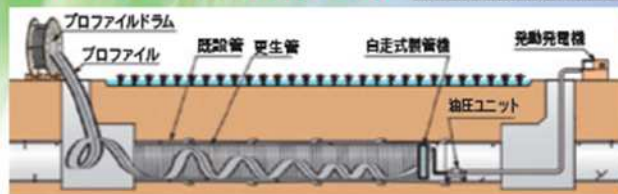
農業の明日へ
地域の未来へ
整えより良い環境作り
備え次世代へ繋ぐ



農業用パイプライン更生工法 SPR-A工法

SPR-A工法の自走式

既設管: 800~5,000mm
円形、矩形、馬蹄型など



特長

作業に支障のない水量なら通水しながら施工可能

5,000mmの大口径にも対応

開口部(600mm程度)があれば、
機材や資材の搬入が可能のため、開削が不要

新管と同等以上の管路(強度・流量)に復元



老朽パイプラインを更生。
いろんな形状、口径、勾配に対応。



農業用パイプライン更生
SPR-A工法



日本SPR工法協会 東北支部

〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車39-3
TEL・FAX 022(392)5981

日本SPR工法協会 TEL 03(5209)0130(代)
ホームページ <http://www.spr.gr.jp/>



ウェブサイトは
こちら！

<https://www.mlw.or.jp>

過去の広報誌もご覧いただけます

- 発行 2026年5月
- 発行所 水土里ネットみやぎ(宮城県土地改良事業団体連合会)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号
TEL 022-263-5811(代表)/FAX 022-268-6390
- 印刷 株式会社セント
〒981-0902 仙台市青葉区北根 4-2-20
TEL 022-274-6441/FAX 022-274-6391